

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 昭和電線ホールディングス株式会社

コード番号 5805 URL <https://www.swcc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 グループCEO (氏名) 長谷川 隆代

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 事業戦略統括本部経営企画部長 (氏名) 小又 哲夫 TEL 044-223-0520

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	129,344	△1.9	6,780	50.0	6,313	62.7	4,562	65.7
2019年3月期第3四半期	131,793	5.1	4,519	△4.4	3,881	△4.1	2,752	1.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,772百万円 (68.1%) 2019年3月期第3四半期 2,839百万円 (△17.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	152.98	—
2019年3月期第3四半期	92.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	125,125	40,169	31.8
2019年3月期	124,165	35,628	28.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 39,749百万円 2019年3月期 34,943百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正につきましては、本日（2020年2月3日）公表いたしました「2020年3月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	△4.0	8,000	20.5	7,300	30.3	4,800	5.0	160.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	30,826,861株	2019年3月期	30,826,861株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,003,962株	2019年3月期	1,003,297株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	29,823,275株	2019年3月期3Q	29,824,140株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法範囲の変更) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資等の内需は堅調を維持しているものの、外需は地政学的リスクの影響による低迷が継続しており景気の回復は不透明な状況が続いております。

電線業界におきましては、建設・電販向けや自動車向けが堅調に推移したものの、電気機械向け等が減少したことから、電線全体の需要はほぼ前年度並みで推移しました。

このような環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は1,293億44百万円（前年同四半期対比1.9%減）となりました。損益面では、営業利益は67億80百万円（前年同四半期対比50.0%増）、経常利益は63億13百万円（前年同四半期対比62.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45億62百万円（前年同四半期対比65.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間および当第3四半期連結会計期間より報告セグメントの区分をそれぞれ変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

報告セグメントの変更の詳細については、「2. (3) . II. 2 報告セグメントの変更等に関する情報」をご参照ください。

#### (エネルギー・インフラ事業)

国内インフラは、首都圏再開発需要等による建設関連向けや電力インフラの国土強靱化対策、再生可能エネルギー向け需要が引き続き堅調に推移したことから、売上高は666億81百万円（前年同四半期対比5.5%増）、営業利益は48億21百万円（前年同四半期対比90.3%増）となりました。

#### (通信・産業用デバイス事業)

海外向け光ファイバ需要が減少しましたが、国内の建設関連向けやデータセンター向け通信ケーブルの需要が引き続き堅調に推移したことから、売上高は229億11百万円（前年同四半期対比8.2%減）、営業利益は19億79百万円（前年同四半期対比18.3%増）となりました。

#### (電装・コンポーネンツ事業)

電装品向け等の高品位線材は堅調に推移しましたが、電気機械向け等の巻線需要の低迷が継続したことから、売上高は361億56百万円（前年同四半期対比9.4%減）、営業利益は3億30百万円（前年同四半期対比48.3%減）となりました。

#### (その他)

新規事業はほぼ前年度並みで推移したことから、売上高は35億94百万円（前年同四半期対比3.2%減）、営業利益は85百万円（前年同四半期は15百万円の営業損失）となりました。

注. 上記、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含めておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,251億25百万円（前連結会計年度末総資産1,241億65百万円）で、主にたな卸資産が増加したため、前連結会計年度末より9億59百万円増加しております。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は849億55百万円（前連結会計年度末負債合計885億37百万円）で、主に借入金が増加したため、前連結会計年度末より35億81百万円減少しております。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は401億69百万円（前連結会計年度末純資産356億28百万円）で、前連結会計年度末より45億41百万円増加しております。その結果、DEレシオは当第3四半期連結会計期間末で114%となり、前連結会計年度対比20ポイントの改善となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期連結業績予想につきましては、売上高は、電装・コンポーネンツ事業の電気機械向け等の巻線の需要低迷や銅価の影響等により、前回予想（2019年11月5日発表）を下回る見込となりました。一方、営業利益、経常利益は、エネルギー・インフラ事業の建設関連向けや電力インフラの国土強靱化対策、再生可能エネルギー向け需要が引き続き堅調に推移したことから、前回予想を上回る見込みとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、構造改革の計画を前倒して推進するため据え置くこととし、通期業績予想を下記の通り修正いたします。

また、期末配当予想につきましては、従来の1株当たり10円から15円に変更いたしました。詳細につきましては本日（2020年2月3日）発表の「2020年3月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	173,000	7,300	6,600	4,800
今回修正予想(B)	170,000	8,000	7,300	4,800
増減額(B-A)	△3,000	700	700	—
増減率(%)	△1.7	9.6	10.6	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	177,174	6,640	5,603	4,569

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,877	5,464
受取手形及び売掛金	43,437	40,220
たな卸資産	21,265	23,290
その他	4,581	4,441
貸倒引当金	△23	△24
流動資産合計	74,138	73,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,365	7,225
機械装置及び運搬具（純額）	5,716	5,553
土地	23,600	23,600
その他（純額）	2,563	3,221
有形固定資産合計	39,245	39,601
無形固定資産	1,224	1,098
投資その他の資産		
投資有価証券	5,537	6,717
繰延税金資産	1,102	1,008
退職給付に係る資産	1,911	2,244
その他	2,014	2,040
貸倒引当金	△1,007	△977
投資その他の資産合計	9,557	11,033
固定資産合計	50,027	51,732
資産合計	124,165	125,125
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,238	19,791
短期借入金	33,524	31,686
1年内償還予定の社債	—	60
未払金	8,620	8,311
未払法人税等	651	1,432
工事損失引当金	52	52
事業構造改善引当金	5	—
製品改修費用引当金	854	510
その他	4,807	3,971
流動負債合計	69,755	65,816
固定負債		
長期借入金	12,054	12,389
繰延税金負債	37	53
再評価に係る繰延税金負債	4,188	4,188
社債	—	240
役員退職慰労引当金	59	—
退職給付に係る負債	636	666
その他	1,805	1,601
固定負債合計	18,781	19,139
負債合計	88,537	84,955

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,221	24,221
資本剰余金	5,536	5,698
利益剰余金	965	5,319
自己株式	△916	△917
株主資本合計	29,807	34,322
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	918	1,104
土地再評価差額金	5,581	5,581
為替換算調整勘定	1,213	698
退職給付に係る調整累計額	△2,578	△1,957
その他の包括利益累計額合計	5,135	5,427
非支配株主持分	685	420
純資産合計	35,628	40,169
負債純資産合計	124,165	125,125

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	131,793	129,344
売上原価	115,958	111,418
売上総利益	15,835	17,926
販売費及び一般管理費	11,316	11,145
営業利益	4,519	6,780
営業外収益		
受取利息	105	121
受取配当金	48	76
持分法による投資利益	—	79
その他	155	93
営業外収益合計	309	371
営業外費用		
支払利息	613	517
持分法による投資損失	36	—
為替差損	75	16
その他	222	304
営業外費用合計	947	838
経常利益	3,881	6,313
特別利益		
投資有価証券売却益	—	78
関係会社清算益	—	22
特別利益合計	—	101
特別損失		
関係会社清算損	—	6
特別損失合計	—	6
税金等調整前四半期純利益	3,881	6,407
法人税等	1,054	1,922
四半期純利益	2,826	4,484
非支配株主に帰属する四半期純利益	73	△77
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,752	4,562



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,826	4,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81	185
為替換算調整勘定	△172	△273
退職給付に係る調整額	265	620
持分法適用会社に対する持分相当額	△161	△244
その他の包括利益合計	12	287
四半期包括利益	2,839	4,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,770	4,853
非支配株主に係る四半期包括利益	68	△81

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

2019年8月1日にSFCC(株)を新設したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月24日付で、連結子会社である嘉興昭和機電有限公司の出資持分を追加取得しました。

また、当社は、2019年10月1日付で、連結子会社である(株)ユニマックの株式を追加取得しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が162百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が5,698百万円となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	エネルギー・ インフラ事業	通信・産業用 デバイス事業	電装・コンポ ーネッツ事業				
売上高							
外部顧客への 売上高	63,232	24,944	39,902	3,714	131,793	—	131,793
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	13	489	2,176	4,612	7,291	△7,291	—
計	63,246	25,433	42,079	8,326	139,085	△7,291	131,793
セグメント利 益又は損失 (△)	2,533	1,673	639	△15	4,831	△311	4,519

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業(ネットワークソリューション、自動車用電線等)、物流業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△311百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△320百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発に関わる費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー・ インフラ事業	通信・産業用 デバイス事業	電装・コンポ ーネンツ事業				
売上高							
外部顧客へ の売上高	66,681	22,911	36,156	3,594	129,344	—	129,344
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	6	413	1,555	4,967	6,943	△6,943	—
計	66,688	23,325	37,711	8,562	136,287	△6,943	129,344
セグメント利 益	4,821	1,979	330	85	7,216	△436	6,780

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業（ネットワークソリューション、自動車用電線等）、物流業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△436百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△409百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発に関わる費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する情報

当社グループの報告セグメント区分は、従来、「電線線材事業」、「電力システム事業」、「巻線事業」、「コミュニケーションシステム事業」および「デバイス事業」としておりましたが、2019年2月4日開催の取締役会決議に基づき、当連結会計年度より、「エネルギー・インフラ事業」、「通信・産業用デバイス事業」、「電装・コンポーネンツ事業」に変更しております。

この変更は、各事業セグメントの担当執行役員のもと基盤事業の再構築や成長事業、新規事業の拡大、さらにポートフォリオの見直しをこれまで以上に推進していくことを目的として、従来の製品群を主体とする事業セグメントから、より当社グループのビジネス分野や戦略性に即した事業セグメントへ変更するものであります。

また、品種管理体制の見直しにより、「通信・産業用デバイス事業」に含めていた制振・防振を当第3四半期連結会計期間より「エネルギー・インフラ事業」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」については、当該変更後の金額に組替えて表示しております。

б. 関連情報

前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

地域ごとの情報

売上高

（単位：百万円）

日本	アジア	その他	合計
118,319	13,353	121	131,793

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域別に分類しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

地域ごとの情報

売上高

（単位：百万円）

日本	アジア	その他	合計
119,133	10,101	109	129,344

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域別に分類しております。